

館林市報道資料

令和6年1月25日

表題	群馬県立館林美術館企画展示「ヒューマンビーイング 藤野天光、北村西望から三輪途道のさわれる彫刻まで」について
内容	<p>表題の件につきまして、下記のとおり発表を行いますので、ご案内いたします。</p> <p>【発表内容】 本展は美術表現の基本といえる人物像に焦点をあてた展覧会です。多様な人物表現を、誰か特定の人物を表す「肖像」や、「人の気配」、「かお」といった視点から、絵画や彫刻約150点を紹介します。それに加え、本展では2つの特集展示が大きな見どころです。一つは生誕120周年を迎えた藤野天光の人物彫刻29点を、その師、北村西望の作品とともに紹介するものです。藤野天光については、館林市と連携し、屋外彫刻をめぐるクイズラリーを行います。二つ目は、本県下仁田町在住の彫刻家、三輪途道の作品を、視覚に障害のある方も晴眼者も、さわって鑑賞することのできる展示です。</p> <p>【会期】 令和6年1月27日（土）～4月7日（日）</p> <p>【時間】 午前9時30分～午後5時（入館は4時30分まで）</p> <p>【休館日】 月曜日（2月12日を除く）、2月13日（火）</p> <p>【会場】 群馬県立館林美術館</p> <p>【観覧料】 一般620円、大高生310円</p>
本件の 問合せ先	群馬県立館林美術館 連絡先 電話 0276-72-8188 メール tatebi@pref.gunma.lg.jp

ヒューマンビーイング

藤野天光、
北村西望から
三輪途道の
さわれる彫刻まで

GMAT



藤野天光《人頭》1926 館林市蔵



北村西望《思出の面》1952 群馬県立文化財研究所蔵

2024. 1.27(土) — 4.7(日)

午前9時30分—午後5時(入館は4時30分まで) 休館日: 月曜日(2.12を除く)、2.13(火)

主催: 群馬県立館林美術館 協力: 館林市、群馬大学、一般社団法人ノキ 協賛: セント・メサの会

観覧料: 一般 620(490)円、大高生 310(240)円

※()内の観覧料は、20名以上の団体割引料金

※中学生以下、障害者手帳等をお持ちの方とその介護者1名は無料

※群馬県在住の65歳以上の方は平日のみ2割引

群馬県立館林美術館

Gunma Museum of Art, Tatebayashi

〒374-0076 群馬県館林市日向町2003

tel. 0276-72-8188(代表) fax. 0276-72-8338 <https://gmat.pref.gunma.jp/>



三輪途道《肥田子仏女》2021 作家蔵 photo: Ryoichi Suzuki



三輪途道《肥田子》2000 〇氏蔵 photo: Koichi Hayakawa

ヒューマンビーイング

藤野天光、
北村西望から
三輪途道の
さわれる彫刻まで



中平四郎
《讀賣》
1924
個人蔵
(群馬県立館林美術館寄託)



鶴岡政男
《男の顔》
1951
群馬県立館林美術館蔵

本展は、美術表現の基本といえる人物像に焦点を当てた展覧会です。表現へのアプローチは時代によって、国・地域によって、作家の個性によってもさまざまです。近代から現代にかけての作家たちが人の姿に託して表現しようとしたものをさぐってみようと思います。彫刻家にとって人物の表現は主要なテーマといえます。それは、彫刻という概念が、人間中心の西洋思想の中で育ったものであるということに起因します。特に、物をよく見てその本質をさぐるという「写実」を大切にしている作家たちにその傾向は顕著です。日本では戦前から戦後にかけて、西洋に影響を受けながら写実表現を追求した、「官展アカデミズム」とよばれる作家たちがいました。本展ではその系譜に属する館林生まれの藤野天光(1903-1974)の生誕120年を記念し、師の北村西望(1884-1987)の作品とともに特集します。

生まれ故郷の群馬県下仁田町で、自らの生活に根ざして人間をみつめる三輪途道(1966-)もまた「写実」を追求する彫刻家です。本展では、2000年前後に制作された木彫による半身像を出品するほか、目が見えなくなってから生み出された作品は、凸凹とした力強い形態を手で触れて鑑賞できる展示となります。作家が写すのは目に見える世界のみとは限りません。当館に所蔵・寄託された現代作家の絵画・彫刻作品からも、さまざまな人物表現をお楽しみください。



ロカクアヤ《Untitled》2014
個人蔵(群馬県立館林美術館寄託)



町田久美《前夜》2013
I氏コレクション(群馬県立館林美術館寄託)
© Kumi Machida Courtesy of Nishimura Gallery



KYNE《Untitled》2020
個人蔵(群馬県立館林美術館寄託)



日野之彦《二人は走り》2010
個人蔵(群馬県立館林美術館寄託)



いしほあずさ《ブルク》2010
I氏コレクション(群馬県立館林美術館寄託)



西尾康之
《Stand up》
1997
個人蔵
(群馬県立館林美術館寄託)

会期中のイベント

*各事業の詳細・申込方法は、HPをご覧ください。直接お問い合わせください。
<https://gmat.pref.gunma.jp/>



さわっておしゃべり鑑賞タイム

2/4(日)、2/18(日)、3/2(土)、3/16(土)
各日13:00~16:00 [申込不要・要観覧料] *自由な時間に参加できます
サポーターと一緒に展示室で三輪途道のさわれる彫刻を鑑賞します。

映画上映「手でふれてみる世界」

2/11(日) 14:00~16:00 [申込不要・講堂・先着130名]
映画上映の後、監督・岡野晃子と彫刻家・三輪途道によるトークを行います。

ワークショップ「見えない人、見えにくい人、見える人が一緒に作品鑑賞」

2/17(土) 10:30~12:00 [要申込・先着30名・要観覧料]
ゲスト: 三輪途道(出品作家)

音楽イベント「音のスケッチ 彫刻をみる/音楽でみる」

2/17(土) 14:00~15:00 [申込不要・展示室1・要観覧料]
演奏: 林 耕史(彫刻家・群馬大学教授)、菅生千穂(クラリネット奏者・群馬大学准教授)

学芸員による作品解説会

2/14(水)、3/10(日) 各日14:00~(約40分) [申込不要・要観覧料]

たてび☆びじゅつ部「君も彫刻家!~紙粘土で小さな立体作品をつくらう~」

2/24(土) 13:30~15:30 [申込不要・別館ワークショップ室]
*自由な時間に参加できます

たてび☆キッズウォーク

2/10(水)、3/9(土) 各日13:00~15:30 [申込不要・中学生以下対象]
*自由な時間に参加できます *参加記念品付き

ボンボン・ツアー

3/24(日) 14:00~14:30 [申込不要] *参加記念品付き

藤野天光展を同時開催する館林市第一資料館と連携し、会期中両館でクイズラリーを行います(オリジナルグッズの景品あり)。

インフォメーション

*詳細は各館HPをご覧ください。

- 群馬県立近代美術館 (tel. 027-346-5560)
「長谷川潔 銅版画の世界」3月2日(土)~4月7日(日)
- 館林市第一資料館 (tel. 0276-74-4111)
「幸福は愛より始まる~彫刻家・藤野天光展~」1月27日~4月21日(日)

交通案内

車: 東北自動車道 館林I.C.から約9km、北関東自動車道 太田桐生I.C.から約15km
電車: 東武伊勢崎線 多々良駅I.C.から約1.2km(徒歩20分)、東武伊勢崎線 館林駅から約4km(東口よりタクシー 10分)
バス: 館林駅西口から多々良巡回バス、往路30分、復路15分。バス停「県立館林美術館前」からすぐ、またはバス停「多々良公民館南」から徒歩15分。

東京都内からのご案内

- ・浅草駅(東京メトロ銀座線、都営地下鉄浅草線)または北千住駅(JR常磐線、東京メトロ日比谷線、千代田線・半蔵門線、つくばエクスプレス)から東武スカイツリーライン・伊勢崎線をご利用ください。特急「りょうもう」の場合、浅草駅(北千住経由)~館林駅の所要時間は約60分。
- ・JR宇都宮線ご利用の場合は、久喜駅で東武伊勢崎線に乗り換え。久喜駅~館林駅の所要時間は約30分。

多々良巡回バス時刻表

館林駅西口	多々良公民館南	県立館林美術館前	館林駅西口
8:50	9:10	9:14	9:30
9:40	10:09	→	10:23
10:43	11:03	11:07	11:23
11:38	12:07	→	12:21
13:21	13:41	13:45	14:01
14:16	14:34	→	14:47
15:02	15:31	→	15:45
16:00	16:20	16:24	16:40

*バスの時刻は変更となることがあります。



群馬県立館林美術館

〒374-0076 群馬県館林市日向町2003
tel. 0276-72-8188(代表) fax. 0276-72-8338
<https://gmat.pref.gunma.jp/>